

花見総区の防災訓練は、日本中を戦慄させた平成二十三年三月の東日本大震災を背景に津田四区区長（総務部長）の緻密な企画により実現出来た。第一回の防災訓練は、平成二十四年十一月四日（花見総区地震津波訓練）にて、区民・組長・防災役員・執行部が一体となり総動員数一、二八六名の参加となり、県より小川知事・福津小山市市長参加、NHKテレビのニュースとして報道され、花見此処に有りと示した。

この経験を基に第二回の防災訓練は、平成二十五年十一月九日（土曜日）中学校と合同にて、防災訓練を行う事になった。

十時の緊急地震情報のサイレンの下に十時十五分、住民は第一次指定避難場所に集合、十時三十分に福間中学校に全員避難、中学生による避難者受付、援護者誘導、花見保育所園児の誘導、給食（オニギリ）等を受け総勢（一、五〇〇名）の大防災訓練となった。